



“2007 RosettaNet China Forum”

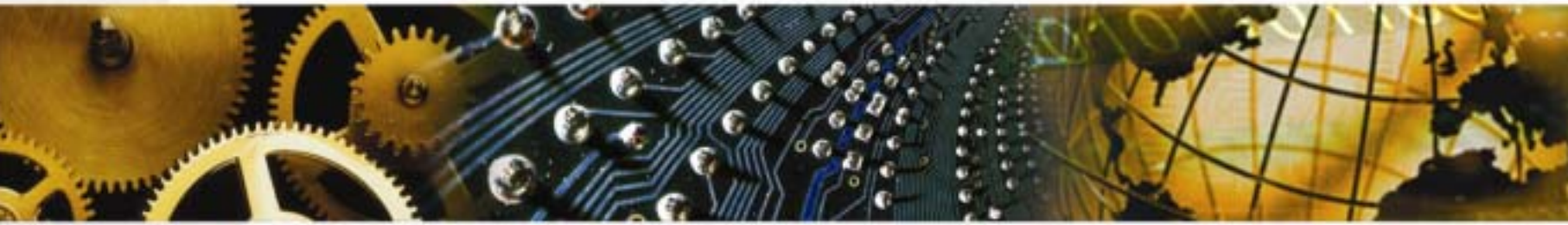
RosettaNet Japan の活動状況

2007年9月18日

RosettaNet Japan 運営委員会

副委員長：米山 和雄

ROSETTANET
eBusiness Standards for the Global Supply Chain



- AGENDA
- 1 . RosettaNet Japanの組織と歴史
 - 2 . RosettaNet Japanの活動状況
 - 3 . RosettaNet標準の活用実績
 - 4 . RosettaNetの今後の発展に向けて



1 . RosettaNet Japanの組織と歴史



RosettaNet Japanとは・・・？

日本におけるRosettaNetの代表機関

2000年4月に世界でRosettaNetの最初の
提携団体として誕生

会員数(現在)

理事会員は8社

パートナー会員は43社

標準化団体として4団体

合計 55企業・団体が参加



理事会員 会社名

/// 富士通

/// NEC

/// ソニー

/// 東芝

/// ルネサステクノロジ

/// マイクロソフト

/// NTTコミュニケーションズ

/// 株式会社 大塚商会



パートナー会員 会社名

ADOS Co.,LTD
ADVANTEST CORPORATION
DAI NIPPON PRINTING CO., LTD.
E2 Open
Electronic Devices Information Service
Freescale Semiconductor Japan Ltd.
Hitachi,Ltd.
Ibiden Co., Ltd
Japan Aviation Electronics Industry , Limited
JFE Systems, Inc.
Justsystem Corporation
KANEMATSU ELECTRONICS LTD.
Kintetsu World Express, Inc.
Kyocera Corporation
Matsushita Electric Co.,Ltd.
Mizuho Corporate Bank, Limited
NEC Electronics Coporation
NICHICON CORPORATION
Nihon Unisys Ltd.
NIPPON CHEMI-CON CORPORATION
NS Solutions Corporation
NTT DATA CORPORATION
PFU Active Labs. Limited
PIONEER CORPORATION

Coxec
Japan Electric Measuring Instruments Manufacturers' Association(JEMMA)
Japan Petrochemical Indusry Association
Object Technology Institute, Inc.

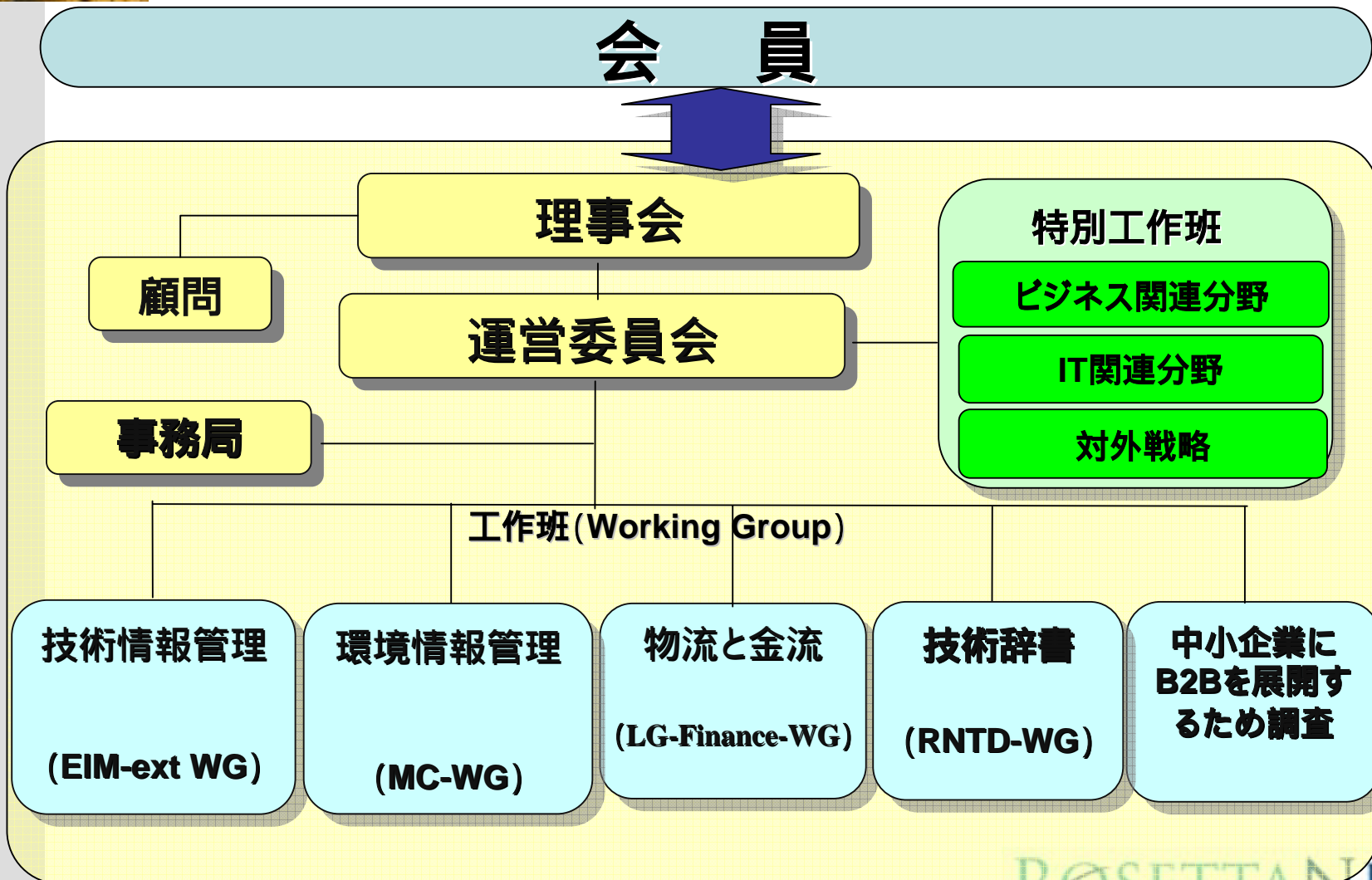
ROHM CO.,LTD.
Ryosan Company,Limited
Sanshin Electronics Co,LTD
Sanyo Electric Company Ltd.
SAP JAPAN Co.,Ltd
SHARP CORPORATION
SHINKO ELECTRIC INDUSTRIES CO.,LTD.
SOFTBANK TECHNOLOGY CORP.
ST Microelectronics K.K.
Sterling Commerce K.K.
Sumitomo Bakelite
Sumitomo Mitsui Banking Corporation
Taiyo Yuden
Texas Instruments Japan Limited
Toppan Printing Co.,Ltd.
TOSHIBA DOCUMENTS CORPORATION
Toshiba Logistics Corporation
Tsuken Advanced System Co.
Tyco Electronics Corporation



標準化団体として4団体

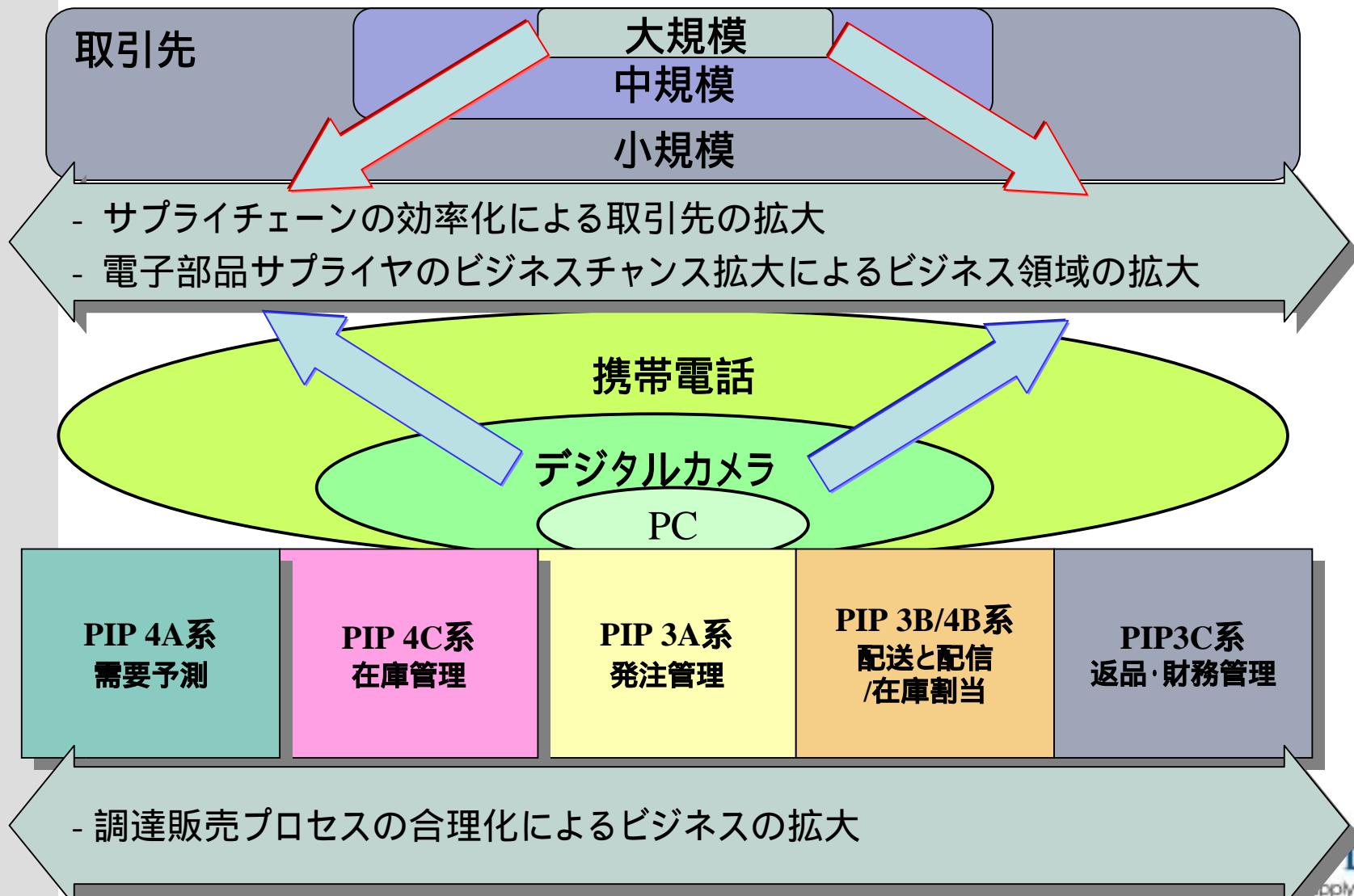


RosettaNet Japan 組織図





OM活動の事例紹介

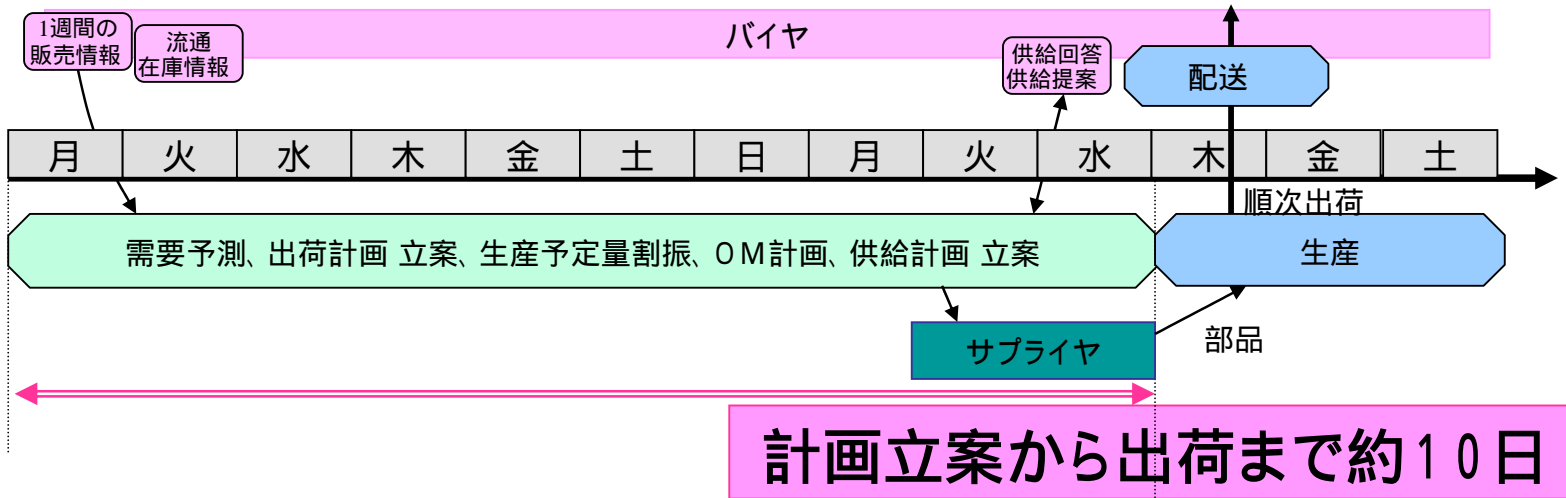




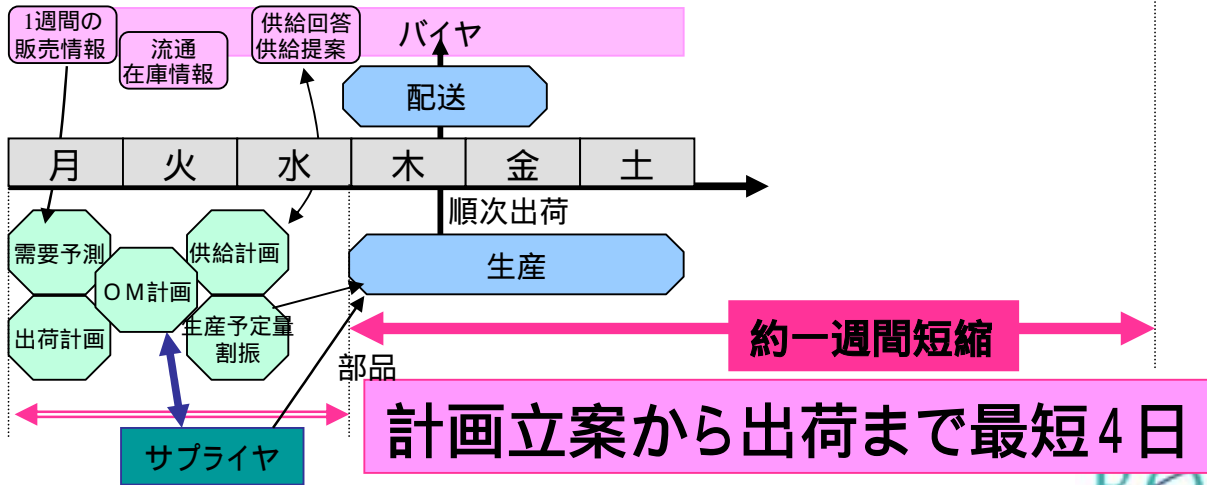
OM活動の事例紹介

BPRによる「ビジネススピードの加速」(2001-2003)

改善前



改善後



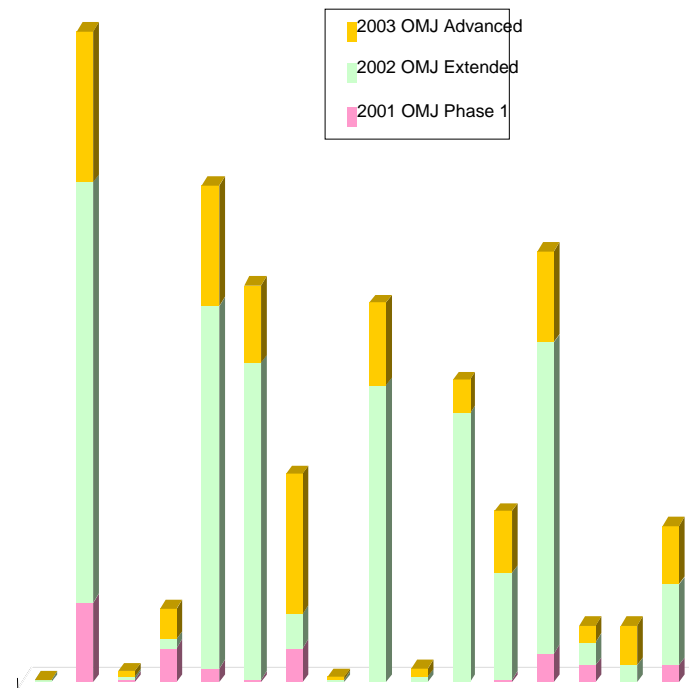
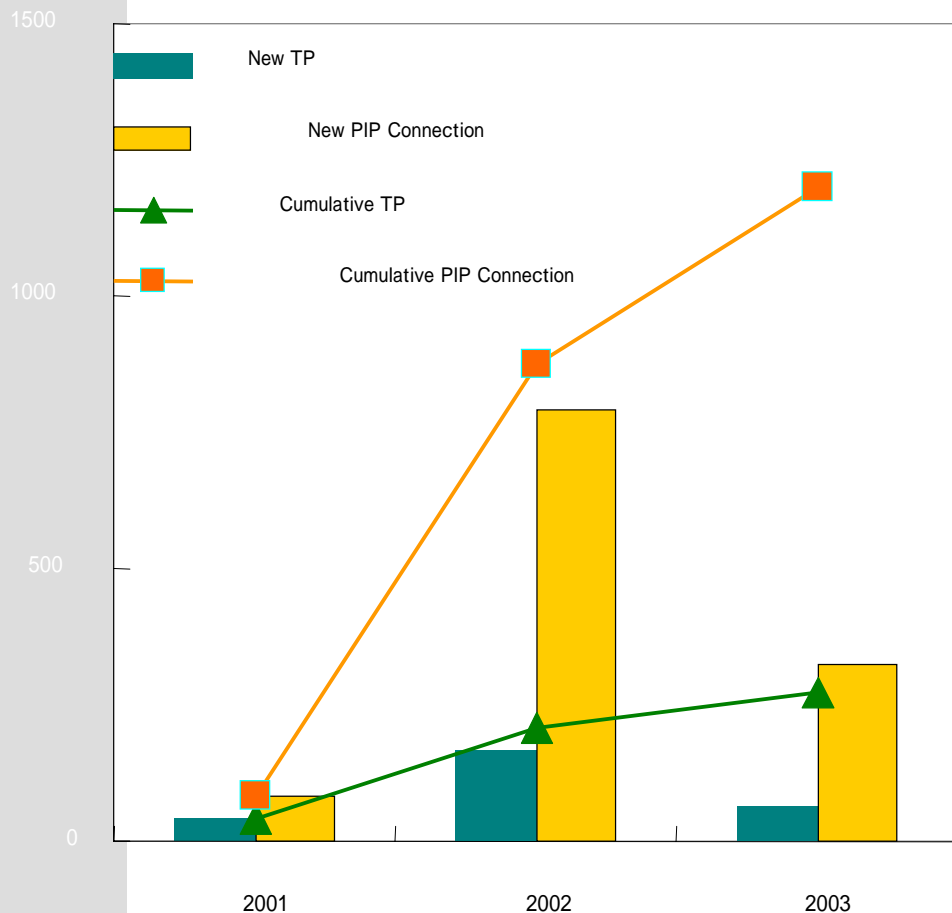


OM活動の事例紹介

OMJ 活用実績: Scorecard (2001-2003)

累積実績

- ✓ 271 TP
- ✓ 1,197 PIP Connection:
- ✓ 4.42 PIP/TP





2 . RosettaNet Japanの活動状況



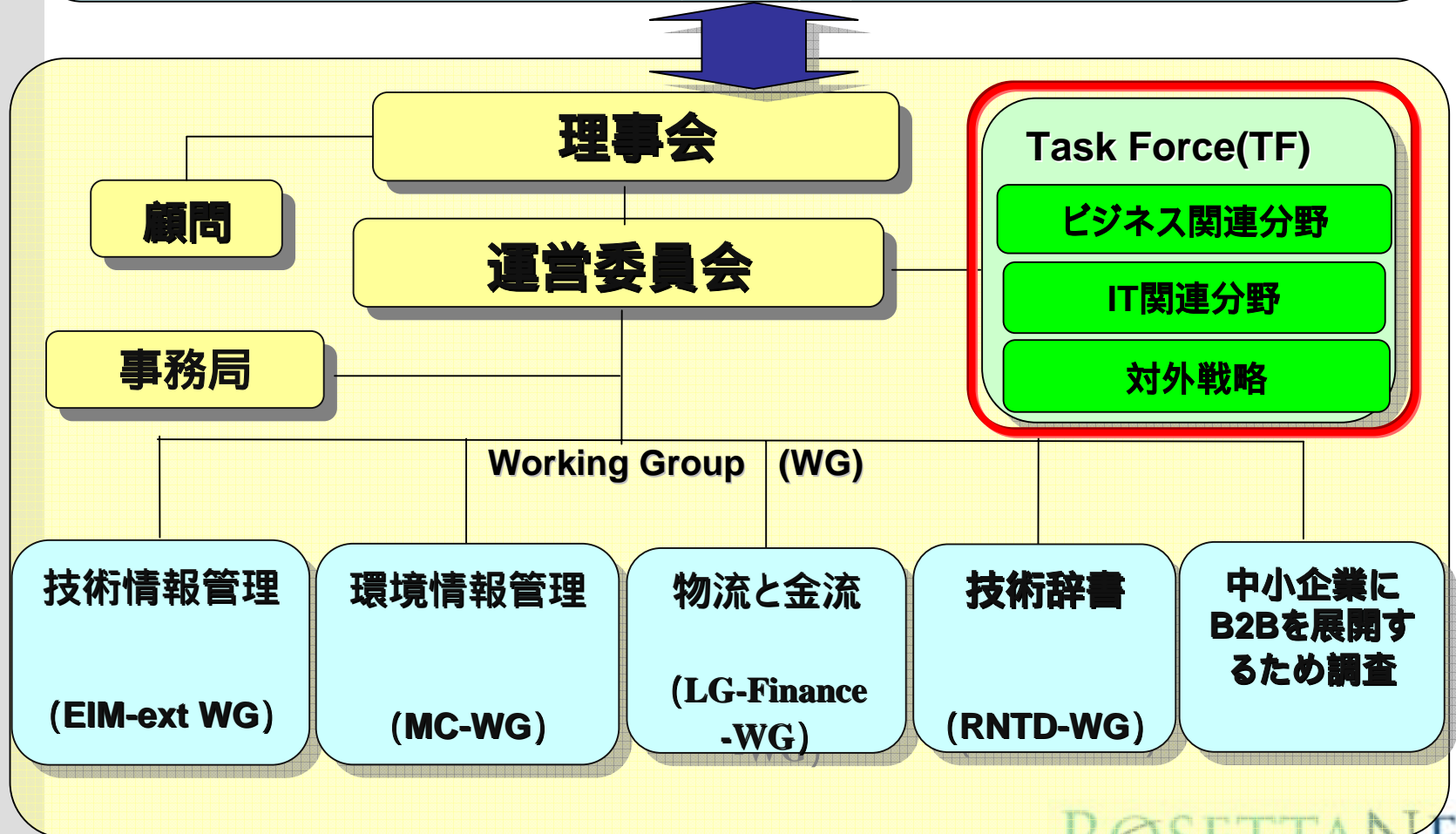
RosettaNet Japanの役割と 2007年度の活動目標


- **RN標準を活用させるためのサポート**
技術情報関連、環境情報関連
- **RN標準開発への寄与**
技術情報管理プログラム EIM Milestone & Foundational Program
RN辞書の保守
- **グローバル活動への寄与**
RNJ会員・非会員に対するRNG戦略の普及・推進
Asia Regionとの協業とForumでの発表
- **新会員のリクルート活動と会員へのサービス向上**
RNJ Web Site(HP)の充実
Working Group活動の推進



タスクフォース活動

会 員



- 
- 新しいワーキンググループの設立
 - 各ワーキンググループの活性化
 - RN標準の教育と普及

ビジネス関連分野TF

新しいIWGの設立検討

- ビジネス視点から見た必要性の検討
- ASPによる技術情報サービスの検討

対外戦略 TF

他標準化団体と友好的な関係と築き、
情報交換をし、RosettaNet標準の
普及促進
(Win-Winの関係を作る)

IT関連分野TF

技術動向の研究と他のTFと連携しながら
将来必要となるであろうB2BのIT基盤技術の提案



ワーキンググループ活動

会員



理事会

顧問

運営委員会

事務局

Task Force(TF)

ビジネス関連分野

IT関連分野

対外戦略

Working Group (WG)

技術情報管理

環境情報管理

物流と金融

技術辞書

中小企業に
B2Bを展開する
ため調査

(EIM-ext WG)

(MC-WG)

(LG-Finance
-WG)

(RNTD-WG)



各ワーキング グループ活動の概要

1. 技術情報管理 EIM EX-WG

- 新PIP2A16の開発プログラム サポート
- 部品形状情報の標準化活動
- PCN/EOL プログラム サポート (PIP2B7,8,9)

2. 環境情報管理 Materials Composition-WG

- 活用サポート (PIP&IPC1752)
- 世界の環境規制情報の収集と標準化団体との情報交換
- 会員及び非会員に対する環境規制情報の提供

3. 物流と金流 Logistics and Finance-WG

- 諸外国との物流取引上での税制に関する研究
- 現行業務のSOX法/J-SOX法への対応

4. 技術辞書 RNTD-WG

- 継続的な保守と内容の向上
- 新しい保守方法及び保守体制に関するRNGとの協議



1. 技術辞書管理

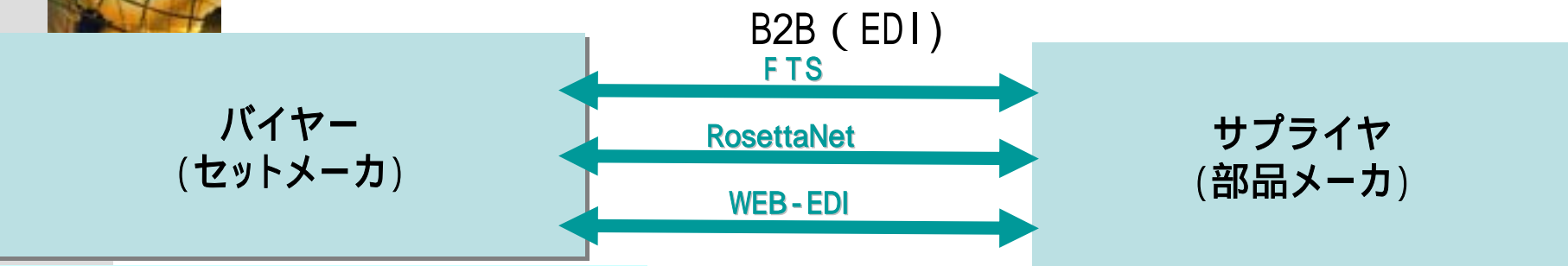
EIM EX- WG

部品技術情報管理に関わる新規PIP開発
及び実装推進サポート

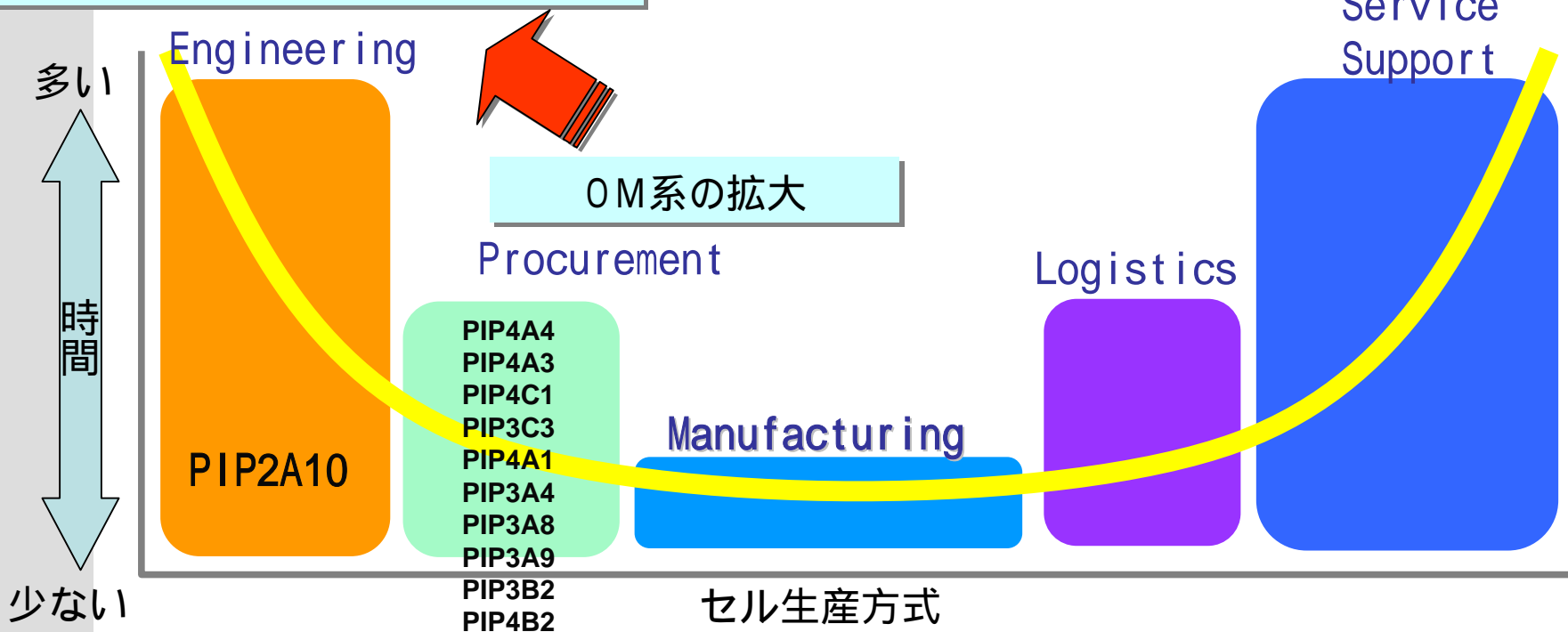
1. PIP2A16のリリース・検証を完了させ、
新PIPのリリースと、活用を開始。
2. PIP2B7, 8, 9リリース・活用サポート・検証への参画、
新PIPリリースに貢献する。
3. EIM ワークショップの開催
上記、新PIP紹介を中心にワークショップを開催し、
PIP2A10も含めて活用拡大を推進する。



部品技術情報流通の経緯 (2003年11月 ~)



部品技術情報系へチャレンジ





バイヤーとして部品技術情報の必要性は！

品質情報

- ・環境対応
- ・安定度合い
- ・検定、承認完了

資材情報

- ・価格
- ・安定供給

部品技術情報

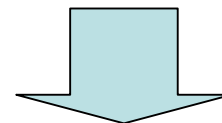
- ・仕様
- ・検索
- ・設計用データ

商品設計者の関心ごと
採用したいが、その部品はどこに？



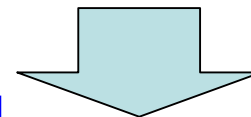
部品技術情報が不足

サプライヤ様に何度も
問い合わせ



手段

Rosettanet & Web-EDI
で部品技術情報を入手



効果

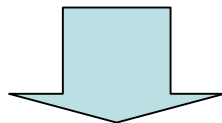
標準部品の活用
入力業務の廃止
入力ミスの減少



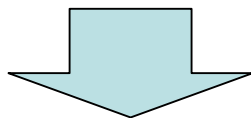
バイヤーとして部品技術情報の必要性は！

紙媒体による業務が主力

1,600万枚/年
紙との戦い



手段：Web-EDIとPDF化



効果：約2週間の短縮
業務進捗状況を双方で共有
入力業務の廃止

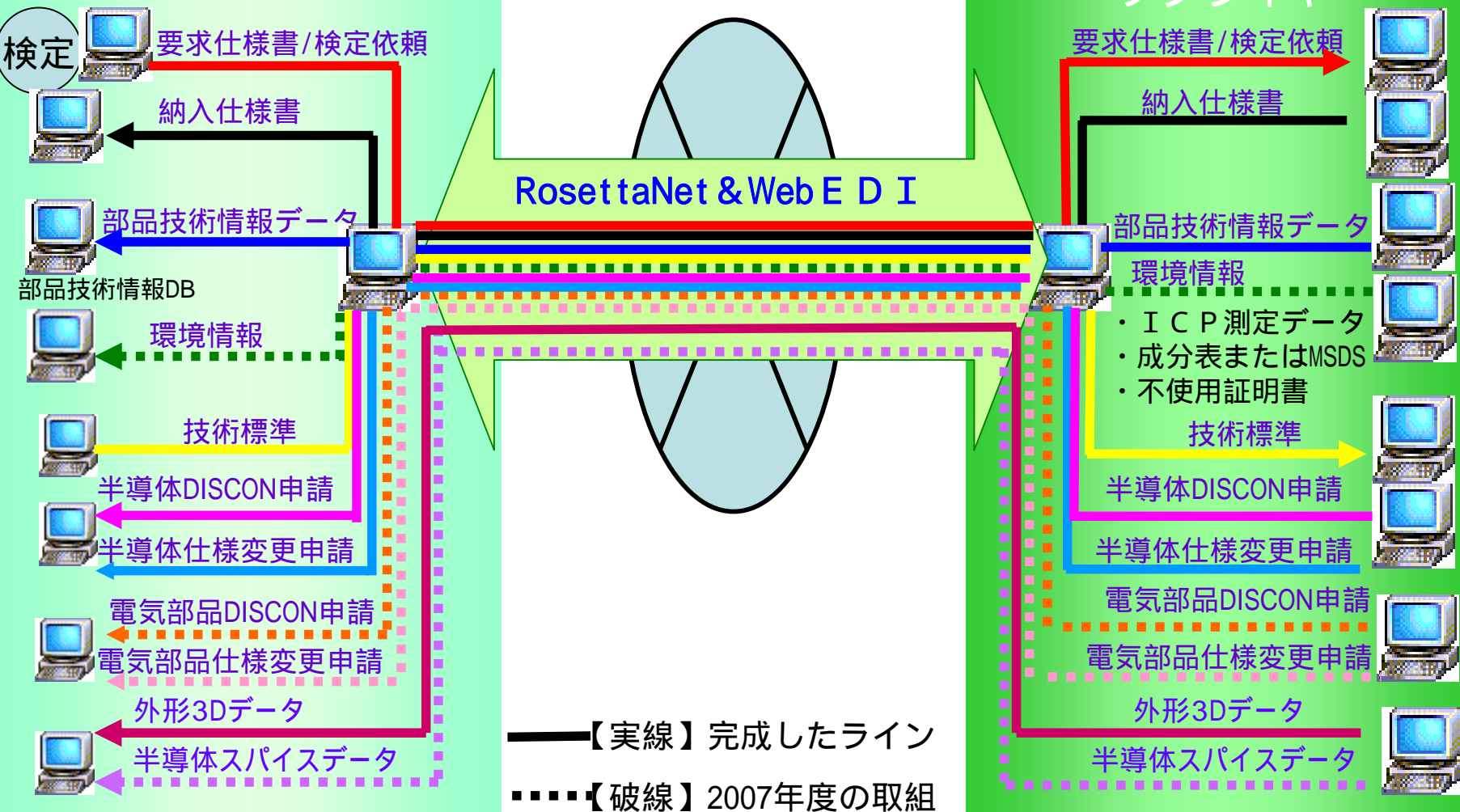


部品技術情報流通での活用事例

バイヤー

サプライヤ
サプライヤ

サプライヤ





RosettaNet/WebEDI による 部品技術情報収集について

バイヤー

量産購買系 RN

・2002年5月
接続開始

月間140万以上
のトランザクション

PIP 3 A 4 (発注の要求)
PIP 3 A 8 (発注変更の要求)
PIP 3 A 9 (発注キャンセルの要求)
PIP 3 B 2 (事前の出荷通知)
PIP 3 B 1 3 (出荷の確認通知)
PIP 3 C 3 (請求の通知)
PIP 4 A 1 (戦略的予測の通知)
PIP 4 A 3 (リリース閾値の予測)
PIP 4 A 4 (企画リリース予測の通知)
PIP 4 B 2 (出荷の受領通知)
PIP 4 C 1 (在庫レポートの配信)



サプライヤー

PIP (Partner Interface Processes)2A10

技術情報系 RN

・2005年8月
接続開始

WebEDI
・2006年3月
接続開始

IDA:セラミック振動子
IDA:汎用トランジスタ
IDA:多連抵抗器
IDA:ツイナーダイオード
IDA:セラミック(TMD)
IDA:セラミック(SMD)
IDA:アルミ電解(TMD)
IDA:アルミ電解(SMD)
IDA:固定抵抗器(SMD)
IDA:標準ロジック
IDA:タンタル固体電解C
IDA:インダクタ(SMD)

現時点
でIDAは、
42件作成済

PIP 2 A 1 0 (設計技術情報の配信)

部品技術情報の収集接続企業



- ・太陽誘電
 - ・太陽社電気
 - ・日本ケミコン
 - ・ルビコン
 - ・東芝
 - ・村田製作所
 - ・ニチコン
 - ・ローム
 - ・TDK
 - ・釜屋電機
 - ・東光
 - ・リバーエレテック
 - ・丸文(日本TI)
 - ・松下電器産業
 - ・KOA
 - ・NECトーキン
 - ・タイコエレクトロニクスアンプ
 - ・日本モレックス
 - ・アルプス電気
 - ・京セラ
 - ・日本電波工業
 - ・ルネサス販売
 - ・サガミエレク
 - ・イサハヤ電子
 - ・山一電機
 - ・北陸電気工業
 - ・シチズンミヨタ
 - ・新電元工業
 - ・エルナー
 - ・帝国通信工業
 - ・ミツミ電機
 - ・日亜化学工業
 - ・松尾電機
 - ・タムラ製作所
 - ・FCIジャパン
 - ・平河ヒューテック
 - ・シチズン電子
 - ・ユニダックス
 - ・日本インター
 - ・イリソ電子工業
 - ・日本電産コナル電子
 - ・進工業
 - ・日本圧着端子製造
 - ・福島双羽電機
 - ・スミダ電機
 - ・大真空
 - ・スタンレー電気
 - ・京セラエルコ
 - ・エプソントヨコム
 - ・三洋電機/電子デバイス
 - ・三洋セミコンデバイス
 - ・オンセミコンタクター
 - ・NXPセミコンタクターズ
 - ・インフィニオンテクノロジーズ
 - ・USC(フェアチャイルド)
 - ・三信(日本航空電子工業)
 - ・三信(NECエレクトロニクス)
- 以上、計57社



部品技術情報が流通化可能となった部品種

電気部品17品種30 IDA:

- ・インダクタ(SMD / TMD)
- ・固定抵抗器(SMD / TMD)
- ・アルミ電解コンデンサ(SMD / TMD)
- ・固定ネットワーク抵抗器(SMD)
- ・セラミックコンデンサ(SMD) (温度補償用 / 高誘電率)
- ・タンタル固体電解コンデンサ(SMD)
- ・チョークコイル
- ・セラミック振動子(SMD / TMD)
- ・FPC / FFCコネクタ(SMD)
- ・水晶振動子(SMD / TMD)
- ・半固定抵抗器(SMD)
- ・水晶振動子(時計用)(SMD / TMD)
- ・基板対基板コネクタ
- ・フィルムコンデンサ(SMD / TMD)
- ・電源コード / 電源コードセット
- ・タクティルSW
- ・EMIフィルタ5種(クランプコア / フェライトビーズ (SMD / TMD) / EMIラインチョーク / EMIコモンモードチョーク)

半導体7品種(12 IDA):

- ・LED (SMD / TMD)
- ・FET (JFET / MOSFET)
- ・標準ロジックIC
- ・ツェナーダイオード
- ・抵抗内蔵トランジスタ
- ・小信号バイポーラトランジスタ
- ・汎用PNダイオード4種
(整流用 / ハイスピード / スイッチング / ショットキーバリア)

計24品種

42 IDA

品種名はE C A L S辞書クラス名称を採用しています。



サプライヤー様提供 部品技術情報

(例) 半導体: 標準ロジック (IDA: SVT003)

Row	部品番号	製造企業名 (英)	製造企業名 (日)	製造企業の DUNS	SB-No.	部品名称	半導体 メーカーコード	機能分類	機能	回路数	
1	6-700-225-01					TC74VCX157FT(EL)			Low Voltage Qu	4	
2	6-700-439-01					SN74ALVC00PWR			2-INPUT POSIT	4	
パッケージ	端子数					伝搬遅延時間 [ns]	伝搬遅延時間 tPHL [ns]	伝搬遅延時間 測定電圧 Vcc (typ) [V]	入力方式 (CMOS/TTL)	最大定格 電源電圧 Vcc (min) [V]	最大定格 電源電圧 Vcc (max) [V]
TSSOP16-P-0044	16					3	3	3.3		-0.5	4.6
TSSOP14P-225-0	14					3	3	3.3		-0.5	4.6
ウェハプロセス	種別記号					高さ (nom) [mm]	許容損失 (max)[W]	動作周囲温度 (min)[]	動作周囲温度 (max)[]	等価内部容量 [pF]	
CMOS						4.4	1.1	0.18	-40	85	20
CMOS								0.008	-40	85	23
入力容量 (typ)[pF]	入力容量 (max)[pF]					最大クロック 周波数 (min)[MHz]	立ち上がり時間 (max)[ns]	立ち下がり時間 (max)[ns]	実装	実装用 包装形態	
	6								SMD	Embossed Carrier	
									SMD	Embossed Carrier	
質量 [g]	品名 (英)					最終改訂日付	変更日時				
0.06	TC74VCX157FT					10/27/2005	11/04/2005 12:00				
0.055	SN74ALVC00PV					09/30/2005	12/14/2005 13:00				

部品番号
 製造企業名
 DUNSコード
 部品名称
 機能
 パッケージ種類
 推奨動作電源電圧 (min/max)
 伝搬遅延時間
 最大定格電圧 (min/max)
 保存温度範囲 (min/max)
 動作周囲温度
 静的消費電流
 等価内部容量
 実装形状
 実装用包装形態
 質量
 変更日時など



2. 環境情報管理

Materials Composition-WG

環境情報の活用推進だけではなく、コンプライアンス最新動向等の情報入手や、関連団体との情報交換を活動の軸としています。

1. 活用サポート

- ・環境情報活用サポート
- ・IPC1752-1/2/3 (V1.1) 日本語版リリース
- ・AIS (Article Information Sheet) 検討

2. コンプライアンス

- ・国内外の法規制調査 (EuP、REACH)
- ・国際標準化動向調査 (IEC/TC111)

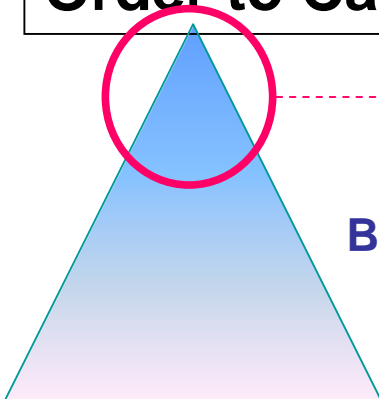
3. 他団体との協調

- ・川上～川下業界との情報交換及び連携
Ⓢ 化学 部品 機器 Ⓣ



B2Bによる環境データ取得の効率化

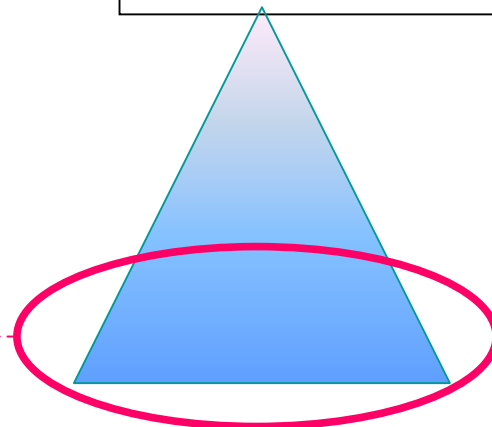
受発注と精算
Order to Cash



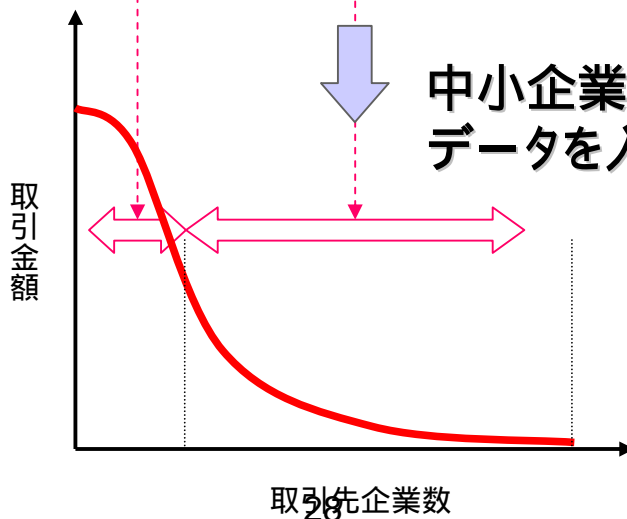
効果大
Big Results

トップ20%の企業と
取引で効果大

環境情報
MC Information



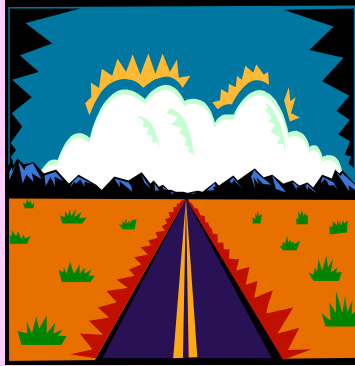
中小企業からも正しい
データを手入れすることが重要



100%の企業から
情報収集が必要

RosettaNet PIP と IPC1752の活用例

大企業



高速通信
Highway



RosettaNet
PIP 2A10・13

高速通信と一般通信を併用することで100%情報収集が可能

ノキヤの例(RosettaNet+IPC1752)

The Standardized Approach

- Speed, visibility and collaboration in extended value chain
- Efficiency in each business transaction
- Volume and speed in implementing new business processes with trading partners
- Standard based, automated processes

ROSETTANET
eBuyer/Supplier

- RosettaNet Partner Interface Processes (PIP 2A13)
 - Global, industry-wide standard
 - System-to-system integration
 - Efficient solution
 - Flexibility
 - Not Material Composition specific → Re-usability & cost efficiency
 - Human effort optimized
 - Enables integrated approach
 - Material Composition → Part of normal business design, component choice, ...
- IPC 1752
 - Adopte Acrobat-based & RosettaNet PIP 2A13 compatible
 - Supports Nokia approach to data collection

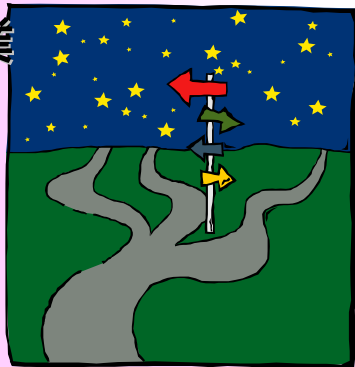
Key is XML

COMPANY CONFIDENTIAL

NOKIA
ELECTRONIC

ROSETTANET
eBusiness Standards for the Global Supply Chain

一般通信
Ordinary
road
IPC1752
(PDF)



中小企業



3. 物流と金流

Logistics and Finance-WG

取引全体の効率化を睨み、物流/商流/金流をGlobalな動きの中で捉え、阻害要因となる共通課題を発見して解決、RN実装拡大に導く。

- ・国際会計基準とJ-SOXが、企業会計を通じてサプライチェーンの現場に及ぼす影響を考察。
売上計上のキーとなる情報をB2B間で共通化。
- ・海外で進んでいる電子通関や、(電子タグ)RFIDを使った物流・金流関係の成功事例を紹介。
- ・RNGの物流・金流系の最新の動きを注視、継続的な事例紹介や会議参加を通じて、物流・金流系PIP実装のメリットを再確認して会員にアピール、実装に繋げていく。



4. RN技術辞書 RNTD-WG

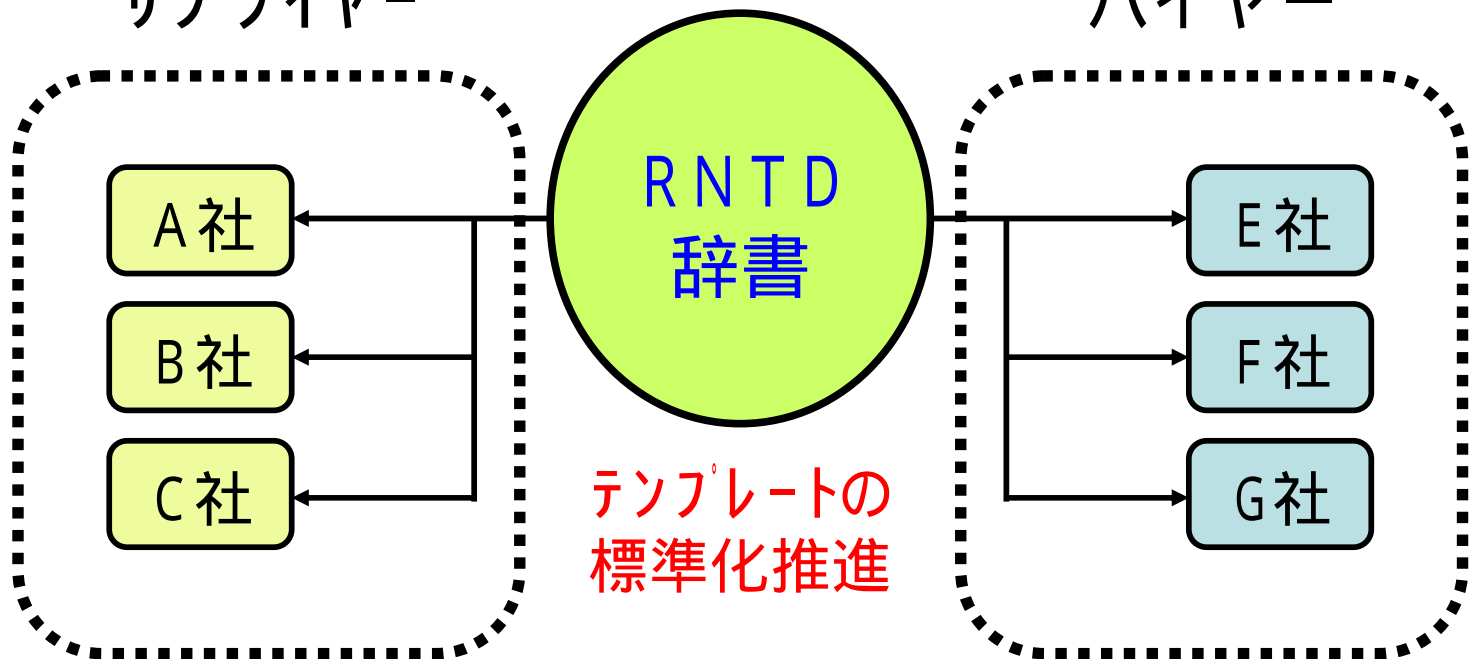
技術情報流通関連WGを支えるRNTDの充実 及び品質改善活動

- 技術情報管理の活用を推進するRNTDのメンテナンス
- 辞書保守システム、組織の再構築
- JEITA辞書チームと具体的な保守内容について情報交換の継続実施
- 国際技術辞書調和会議に参画し、RNTDへのフィードバックとRNTDの知名度の向上



サプライヤー

バイヤー



社内DB
カタログ
納入仕様書

用語共通化が重要！

社内DB
システム活用



RNTD活用によるBPRの実現とメリット

サプライヤー

データの重複作成を減らすことが可能となる

サプライヤーでのDB構築により、業務BPRが可能となる

- ・ 部品技術情報の提供スピードアップ
- ・ データ精度アップ

バイヤー

社内部品DBへのデータ流用が可能となる

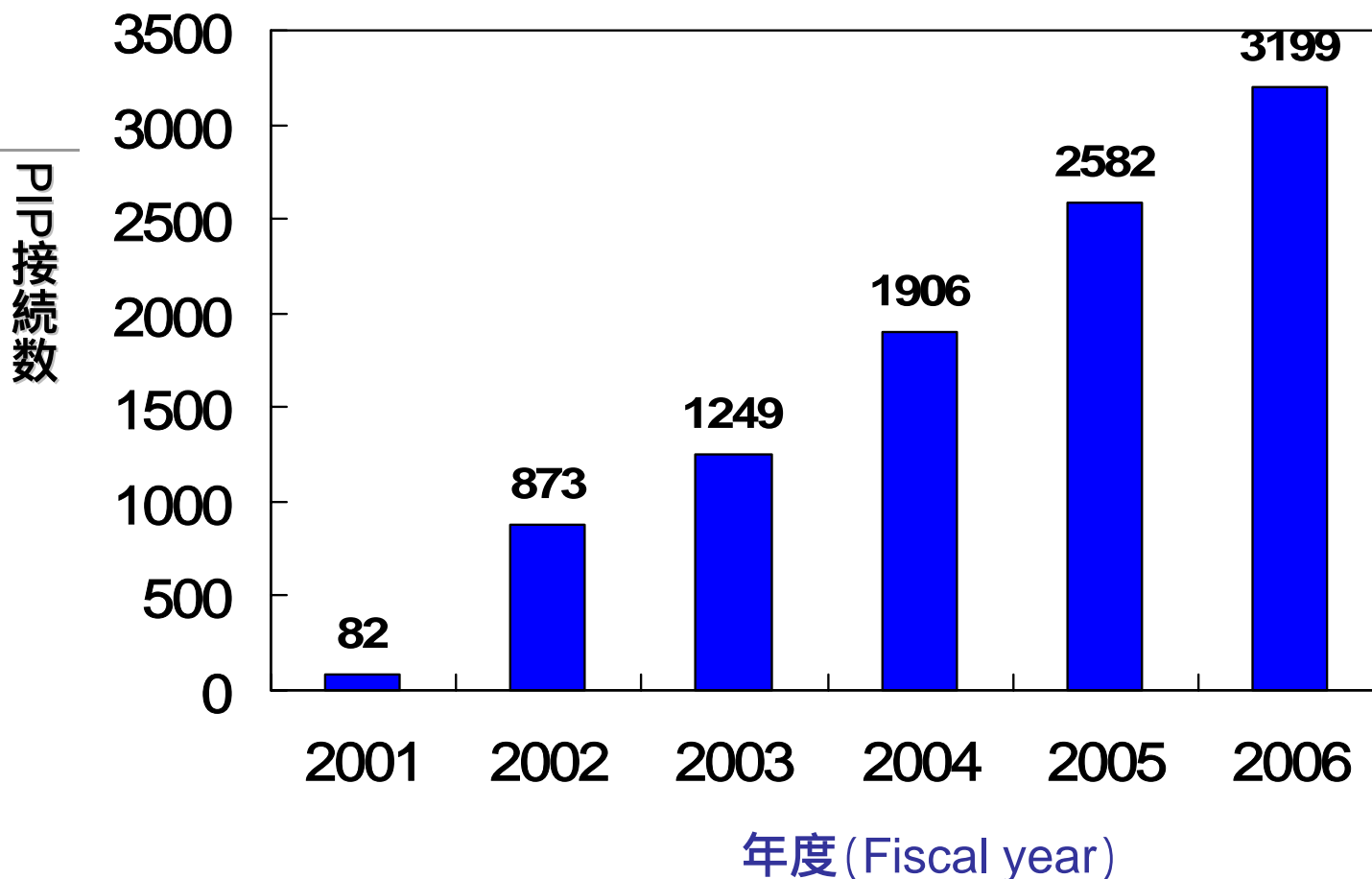
電子データをCADおよび製造システムで活用することにより業務BPRが可能となる



3 . RosettaNet標準の活用実績

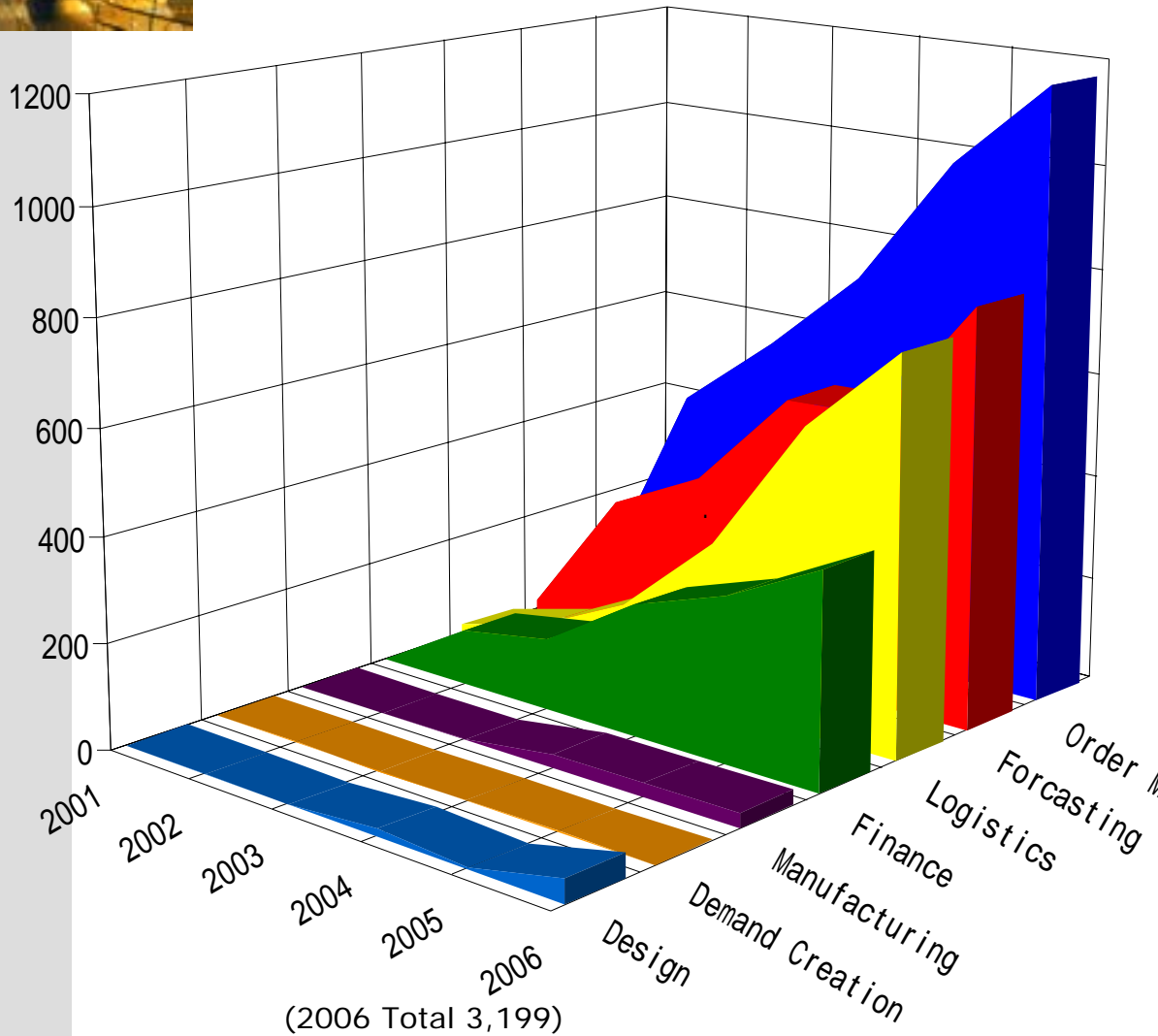


日本における RosettaNet 標準の活用実績



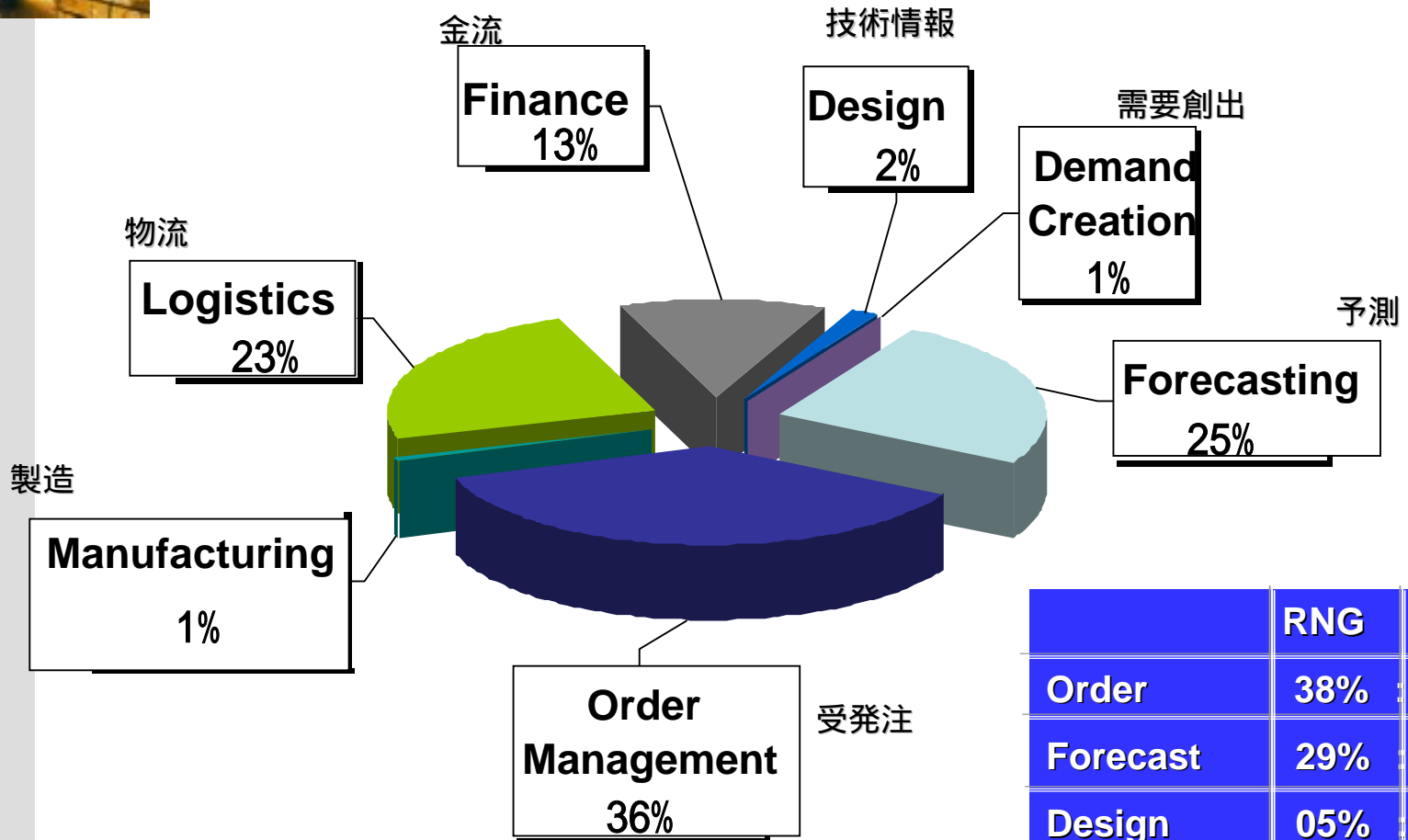


活用分野別状況





活用分野別RNGとRNJの比較(2006)



(2006 Total 3,199)

	RNG	RNJ
Order	38%	36%
Forecast	29%	25%
Design	05%	02%
Payment	13%	13%
Logistics	13%	23%
Manufacture	02%	0 1%



4 . RosettaNetの今後の発展に向けて



課題と挑戦

1. WG活動の活性化と会員確保
2. 中小企業サプライヤからの正確な技術情報
(特に環境関連情報)の取得とその教育
(特に海外ー中国)
3. ITを活用した中小企業(SME)との連携
4. RAE2/TNEを活用したRN標準の適用
5. RNG/RN Asia諸国との友好連携



技術情報収集・利用事例

バイヤ A社

部品の情報をWebから検索



気になる部品の
詳細情報をリクエスト。
JGPSSIフォーマットでの
回答を指定



詳細情報の
JGPSSIデータを受信

自社のサーバへ登録 or
指定フォーマットへインポート
(Excel)



担当者へ通知



サプライヤ X社

部品の情報を登録(売り込み)



リクエスト通知を受信
エクセルファイルを
ダウンロード



XMLデータを
Webサービスで送信



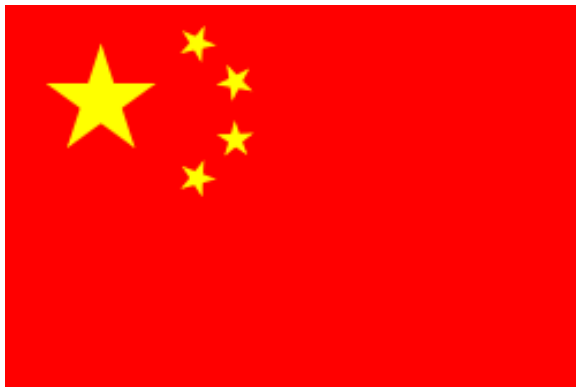
エクセルファイルに
情報を記入。
OpenXMLから
R&R標準XML形式に
変換し、R&Rへ送信。
送信結果を通知。

一度登録した自社部品の情報は、
Webでいつでも参照、ダウンロード可能。

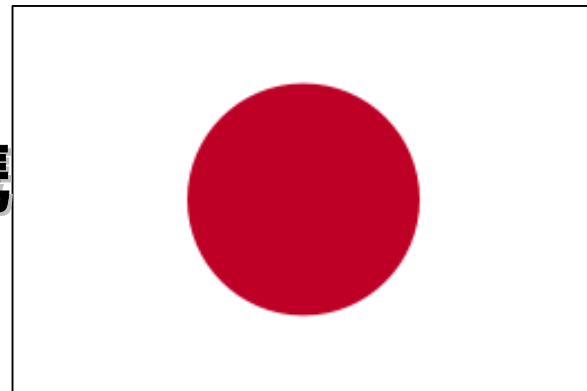




RosettaNet の発展のために



友好連携



RosettaNet Japan連絡先

事務局次長

三浦 義彦

Eメール

HP

Senior Director

Mr: Yoshihiko.Miura

yoshihiko.miura@rosettanet.gr.jp

<http://www.rosettanet.gr.jp>

ご清聴ありがとうございました